事例No.	1148
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	高知県香美市

事例区分	一般行政

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・EBPM

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく意向調査等の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

高知県　香美市（森林経営管理制度に基づく意向調査等の実施）

- 香美市の森林面積は47,175ha(総面積の88%）であり、民有林は33,767haそのうち人工林は75%を占める25,413haとなっている。また、人工林の78%が11齢級以上であり森林資源が成熟していることから、施業地の集約化、路網の整備、高性能林業機械の導入等により、効率的な作業システムによる搬出間伐等を積極的に進めてきた。しかしながら、森林所有者の高齢化や世代交代、市外への転居等により、森林境界の確認や所有者の同意取得が困難となっており、森林経営計画の隣接地においても手入ができない人工林が残っている。
- 令和元年度においては、森林資源の成熟度、路網の整備状況、森林経営計画の一部策定済みまたは隣接地等であることなどを考慮して、4地区で意向調査を実施することとし、意向調査に取り組むために必要な下記の事業を実施した。
  - 既存の森林GISを機能強化、意向調査対象地域の登記情報の抽出、森林組合による意向調査対象森林の確認、臨時職員による森林所有者の探索、意向調査の発送、調査結果を森林GISへ入力した後、調査結果を視覚的に俯瞰できる図面を作成した。

□ 事業内容

1　森林GIS機能強化委託業務

- 既存の森林GIS（林地台帳）を、森林経営管理制度に対応するため改修。

【事　業　費】3,038千円（うち譲与税3,038千円）

【実　　績】意向調査の発送数228通、773筆、196.98ha

2　経営管理意向調査対象森林調査委託業務

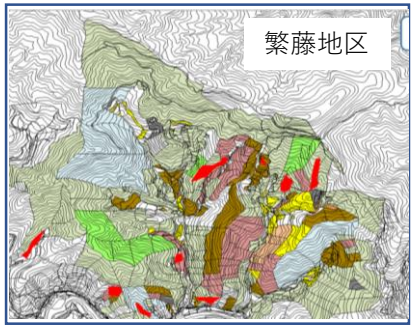
- 森林組合に対して、意向調査対象地区の山林・保安林の中から、手入れがされていないと思われる森林（森林所有者）を抽出を委託した。

【事　業　費】432千円（うち譲与税432千円）

【実　　績】 意向調査対象地区筆数2,991筆→意向調査対象筆数1,065筆



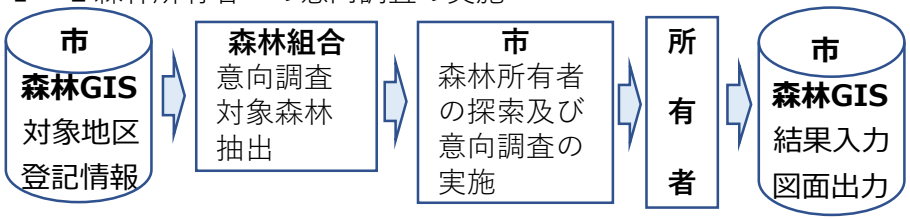
（意向調査地区をＨＰで公表）



（意向調査結果の図化）

□ 事業スキーム

１・２森林所有者への意向調査の実施



□ 工夫・留意した点

- 当市の地籍調査の進捗率は30%程度であり、林地台帳に筆が登録されていなかったり、手入れのされていない人工林の現地確認が困難であるため、対象地区の登記簿情報（約500名）から、森林組合が所在を把握していない森林所有者（＝「手入れがされていない森林」）を抽出（約250名）したうえで意向調査を実施した。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	50,305千円
②私有林人工林面積（※１）	23,653ha
③林野率（※２）	87.6%
④人口（※３）	27,513人
⑤林業就業者数（※４）	181人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」